

「新・放課後等の遊び場づくりモデル事業」の検討の進め方(案)

1. 検討期間

- 平成20年度～平成22年度

2. 検討項目

(1) 開設日時

- 平日における実施回数・実施時間
- 土日や長期休業中のあり方 等

(2) 推進体制

- 職員配置と保護者・地域ボランティアの参加
- NPO、大学など多様な主体の参加 等

(3) 実施場所

- 校庭、体育館の他、余裕教室や特別教室等の活用
- 活動拠点の必要性 等

(4) 実施内容

- 各種教室・イベントなどの実施
- 留守家庭子ども会事業や地域の子ども施策との連携 等

(5) PR他

- 周知・PR方法
- 保険適用等の安全管理 等

3. 検討手順

(1) 事業実施・状況報告 ←

- 各実施校において事業を実施し、その実施状況、データ、アンケート結果等を取りまとめ、事務局に提出する。

(2) 資料作成

- 事務局で各実施校からの提出資料を集約し、課題や検討事項等を整理し、検討・提案会議へ提出する。

(3) 検討・提案会議の開催（各学期に1回程度）

- 事務局が提出する資料を検証し、課題の解決策や新たな取組について検討を行い、各実施校に必要な提案を行う。

(4) 各モデル事業への反映

- 事務局と各小学校の運営委員会において、協議の上、可能な提案を採り入れ実践する。できない場合は、その理由を整理する。

繰り返し

4. 事業効果の測定

- 新モデル事業が、児童に与える効用について把握するため、定期的にアンケート等による測定を行う。